

高次脳機能障害とともに歩んで

—「何も知らなかった」「大したことない」「うちは大丈夫」からの出発—

高次脳機能障害という言葉は少しずつ知られるようになってきました。しかし、見た目ではわからない障害であるため、学校や職場、地域で理解を得ることは、今もって大きな課題です。

今回の勉強会では、高次脳機能障害者の娘を持つ、当NPO法人の濱田代表の話を聞くとともに、高次脳機能障害者の支援に携わっている言語聴覚士の本多留美さんに解説していただきます。

講師：本多 留美さん（言語聴覚士・元県立広島大学保健福祉学部コミュニケーション障害学科准教授）

濱田 小夜子（NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしま代表）

日時：平成27年9月27日（日）13:30～16:00

場所：東広島市西条町田口295-3

広島県立障害者リハビリテーションセンター2階 多目的ホール

対象：当事者とご家族及び関心のある方

高次脳機能障害者の支援に携わっておられる支援者

【プログラム】

- ① ミニレクチャー
「高次脳機能障害とは」
本多留美さん
- ② 対談「高次脳機能障害
とともに歩んで」
濱田小夜子代表
聞き手 本多留美さん

*同様の内容で、11月1日（日）に、三原市・本郷生涯学習センターでも実施いたします。

【濱田代表からのメッセージ】

娘が交通事故に遭ったのは、22年前、娘が18歳の時でした。外見は全く健常者と同じですが以前の娘とは人格が変わりました。当時、高次脳機能障害は知られておらず、障害についての説明もないため、元に戻ると思い、本人を変えようと大変苦労しました。7年目にやっと高次脳機能障害と出会い、気持ちが楽になり、娘を少し理解できるようになりました。

こうした経験から、高次脳機能障害の理解の促進や当事者と家族の支援などを行う会を立ち上げました。

長い道りを経て、高次脳機能障害に対する医療や行政の理解は深まったと思います。しかし、高次脳機能障害は治るわけではありません。問題は日々起こります。「親亡き後」など将来への不安は尽きません。

私自身は決して、娘の良き理解者ではありませんでしたが、今回の勉強会では、私たちのこれまでの歩みと、その折々に、悩みながら学んできたことなどを



後援：広島県高次脳機能センター
広島県

※ お申し込みは、FAX またはメールでお願いいたします。

〒731-0154 広島市安佐南区上安2丁目30-15 NPO法人 高次脳機能障害サポートネットひろしま
電話：082-847-0031 FAX：082-847-0032 メールアドレス ko-jinet@aioros.ocn.ne.jp

FAX 082-847-0032 高次脳機能障害サポーターネットワークひろしま 行

平成27年9月27日(日)講演会 申し込み

勉強会に参加しようと思ったきっかけ、気になっていること、知りたいこと、事例報告する家族に聞いてみたいことなどを、1つご記入ください。

受付名簿を五十音順にするため、フリガナのご記入にご協力をお願いします。家族・当事者・関係機関・その他の該当するところに○をしてください。

フリガナ 名前	家族・当事者・関係機関 その他 ()
フリガナ 名前	家族・当事者・関係機関 その他 ()
フリガナ 名前	家族・当事者・関係機関 その他 ()
所属機関名 (職種)	()
連絡先	〒
電話番号	
FAX 番号	
メールアドレス	

交通の案内

●「JRバス」利用の場合

JR西条駅から

「黒瀬町市飯田・呉市」行き乗車

「県立西条農業高等学校前」停留所で下車

停留所から約1キロです

●自動車の場合

山陽自動車道西条インターチェンジから

国道375号線を呉方面に車で約20分、

「西農前バス停」交差点を右折して

約1kmです。

■送迎バス

JR西条駅6番バス停から「広島県立障害者リハビリテーションセンター」行き

スロープ付き送迎バスを無料で運行しています。(詳細は、広島県立リハビリテーションセンターのホームページをご覧ください)

